

市民の
願い
実現へ

あなたのご支援を 日本共産党の候補者へ



中学校給食を実施します

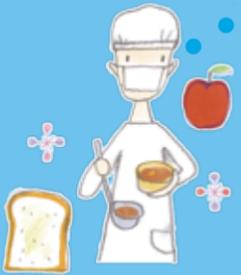
全国 86%の公立中学校で実施されている完全給食。
横浜でも実施しましょう！



横浜市立小学校のある日の給食

× 阻止しているのは自民党

「家庭弁当の良さを尊重し、(中略)引き続き家庭弁当持参を基本とし…」
(2014年12月議会) 民主も公明も同調しています。



地域にバスを走らせませす



南区内を走る小型バス



山坂の多い横浜にミニバスを走らせて、交通不便地域を解消。
気軽に出かけられるようになれば健康寿命が伸び、
環境にもやさしいまちに。
身近な生活道路や歩道の整備も急ぎます。

この願いも

- 中学校3年生まで医療費無料化(通院)に
 - 特別養護老人ホームを増設
- がけ・住宅密集地の防災対策を強化
- 創エネ・省エネのまちに
 - 緑を守り育てます

財源は

新市庁舎や巨大港湾施設などの大型開発の浪費をやめて、
横浜市の一般会計予算1兆5000億円の
ほんの一部をふりむければ、
市民の願いを実現できます。



市民のみなさんとの共同の力で 日本共産党5議席で実現

- がけ防止対策の推進費が4.5倍
- 小児医療費助成制度が小学3年生までに拡大
- 子育て世帯の国民健康保険料が引き下げ
- 民間住宅・太陽光パネル設置目標が倍加
- 救急隊が3隊増

日本共産党が倍増すれば 願い実現力がぐ〜んとアップ!

現在5人の日本共産党の議員が8人以上になると、議案提案権が得られ、8つの
常任委員会すべてに所属できます。さらに議員が増えれば、議会での発言時間が
増えて、今以上に市政を追及、提案、要望できます。

さらに、観光まがいの海外視察や、議会出席毎に1,000~3,000円支給される費
用弁償をやめさせる大きな力になります。

安倍暴走政治 と対決

- 集団的自衛権の行使容認の「閣議決定」を具体化する「戦争立法」許さない
- 消費税10%は中止、応能負担の税制度へ
- 社会保障費の「自然増削減」路線ストップ、年金削減をやめさせ、国保料の引き下げを
- 原発再稼働反対、原発ゼロへ
- 「残業代ゼロ」も「一生派遣」も許さない、雇用ルールを守り、ブラック企業規制を

市議会で日本共産党を伸ばし

暴走ストップ! 暮らし・福祉守る新しい政治を



集団的自衛権、消費税増税、福祉の切り下げ…安倍政権の暴走をストップするために、日本共産党は21人に躍進した衆議院議員を先頭に奮闘しています。
横浜でも、安倍内閣の経済政策アベノミクスの横浜版を進める自民党言いなりの林市政に「待った」をかけ、暮らし優先の予算の使い方に改めるよう、全力投球しています。



日本共産党

ふたたび戦争する国にはしない

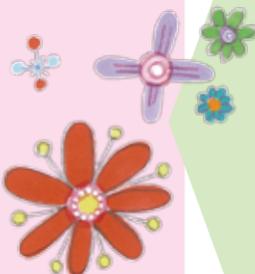
93年前に党をつくってから一貫して戦争反対、平和を訴えてきました。平和を願うみなさんと憲法9条をまもりぬきます。
横浜市議会でも、平和都市宣言を訴え、市内米軍基地の早期返還を求めています。
また、正しい歴史認識の中学校教科書の選択を求めています。



憲法・平和

横浜を賭博のまちにしない

統合リゾート (IR) 型カジノは、ギャンブル依存症の増加、青少年への悪影響、暴力団等の関与、マネーロンダリングなどの懸念のほか、地域経済を破壊するとして、誘致に反対。昨年11月にはカジノに関するシンポジウムを開催しました。



カジノ

暮らし・福祉・防災中心に

不要不急の大型公共事業に偏った予算の使い方を、市民の暮らしや防災重視に改めるよう主張し、毎年予算組替を提案。
東京五輪や東日本大震災の復興に向けての工事で資材高騰や職人不足の今、建設を急ぐのは建築費がふくらみ、ますます財政を圧迫すると、東京五輪前の新市庁舎建設に反対。



税金の使い方

自民党 民主・公明も同調

集団的自衛権、憲法改悪

アメリカ軍と自衛隊が肩を並べて戦争するのが「集団的自衛権」の正体。戦争立法を急ぎ、その具体化をはかろうとしているのが安倍政権です。来年には、憲法を変えるための国民投票の実施をもくろんでいます。
侵略戦争美化・改憲誘導の社会科中学校教科書を採択した市教育委員会を賛美。

積極的に推進

国会では自民・維新等がカジノ法案を提出。今国会に再提出されるといわれています。民主・公明・次世代の党もカジノ議連に参加しています。
横浜の自民党は、法案が提出される前からカジノを積極的に誘致するよう市長に働きかけ、山下ふ頭にと場所まで指定しています。

新市庁舎完成を東京五輪までに前倒し

新市庁舎、巨大港湾施設、高速道路、横浜駅周辺再開発など不要不急の大型開発を東京五輪までに完成させるよう、議会で繰り返し要求。
自民党言いなり市政によって大型開発が優先され、防災や市民生活向けの公共事業が圧迫され、借金もふくらんでいます。

主要政党・会派の態度 (○=賛成 ×=反対)

議案・請願	共産	自民	公明	民主	(維新) 結ぶ会	のみ 横浜
カジノ誘致調査予算(2014年度)	×	○	○	○	○	○
カジノ検討関連予算の凍結を求める請願	○	×	×	×	×	×
高速横浜環状道路北西線の東京五輪前倒し開通	×	○	○	○	○	○
子ども医療費助成拡充請願	○	×	×	×	×	×
中学校給食の実施を求める請願	○	×	×	×	○	×
今田忠彦教育委員(自由社版、育鵬社版中学校社会科教科書採択を主導)の再任	×	○	○	○	○	○
新市庁舎の東京五輪前倒し建設計画	×	○	○	○	×	○

※旧会派「みんなの党」所属時の態度

公明・民主・みんな 自民言いなり市政の応援団

日本共産党を除く横浜市議会の会派は、どこも自民党言いなりの林市政が提案する議案にほとんど賛成。その一方で、市民が求める請願にはほとんど反対です。
これでは市政のゆがみを正すことはできません。
不要不急の大型開発にストップをかけ、市民の暮らし優先の市政に転換するために、日本共産党の議席を大きくのばしてください。

政治と金 政治をゆがめ 金まみれの自民党

自民党や民主党の国会議員が、国の補助金が入った企業からの違法献金を受け取っていたことが発覚し、問題になっています。
日本共産党は、団体献金をいっさい受け取らず、政党助成金も一銭も受け取っていません。党国会議員団は、政党助成金廃止法案の提出に続き、パーティー券購入も含め企業・団体献金全面禁止法案を提出しました。



あなたの一票を市民の声で政治を動かす日本共産党の候補者へ